

## 観光客実態調査（4 期速報）

### 〈目的〉

- ・伊勢市を訪れる観光客の旅行目的、来訪手段、滞在種別（日帰り・宿泊）、立寄り箇所数、消費額、満足度など行動実態に関する調査を実施し、その特性、傾向等进行分析することにより本市の観光の実態を明らかにし、本市の観光施策の効果的な推進を図る。

### 〈調査日〉

（平成 27 年）4 期：平成 27 年 12 月 19 日（土）

### 〈調査方法〉

- ・本市内の調査地点を訪れた観光客を対象に、調査員による「対面聞き取り調査」を行いました。

### 〈調査地点〉

- ・本市内の下記 4 地点を対象としました。  
外宮周辺（外宮前バス停横広場）、内宮周辺（おかげ横丁）、二見（二見浦公園駐車場）、河崎（河崎商人館周辺）

### 〈調査対象〉

- ・調査地点を訪れた観光客を対象とします（市民を除外しません）。
- ・本調査では外国人観光客を対象としません。

### 〈回収数〉

（平成 27 年）4 期：408 サンプル（うち市民 13 サンプル）

【参考】※本調査は平成 26 年 10 月から行っています。

（平成 26 年）1 期（10 月）：425 サンプル、2 期（12 月）：417 サンプル

合計：842 サンプル（うち市民 40 サンプル）

（平成 27 年）1 期（4 月）：351 サンプル（うち市民 30 サンプル）

2 期：（7・8 月）：426 サンプル（うち市民 17 サンプル）

3 期：550 サンプル（うち市民 93 サンプル）

### 〈今回公表する調査結果〉

- ・平成 27 年 4 期速報結果（抜粋）

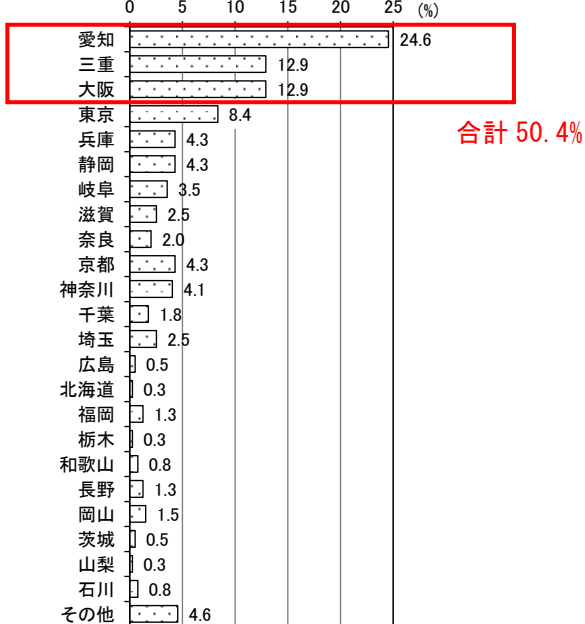
## ●平成27年観光客実態調査（4期）速報結果

※調査自体は市民を含んで実施していますが、下記のグラフからは市民を除いています。

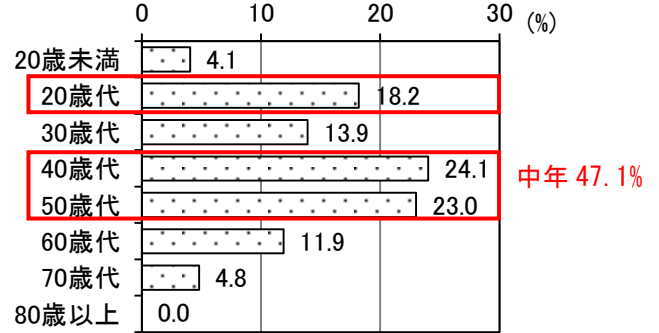
### 1. 観光客の属性～20、40～50歳代・夫婦・友人が多い/愛知・三重・大阪が多い/半日以上

の滞在～

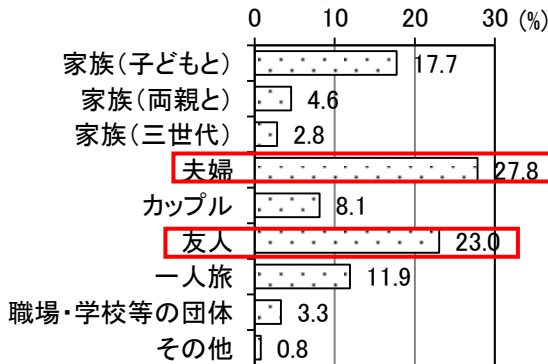
#### (1) 居住地（都道府県別）



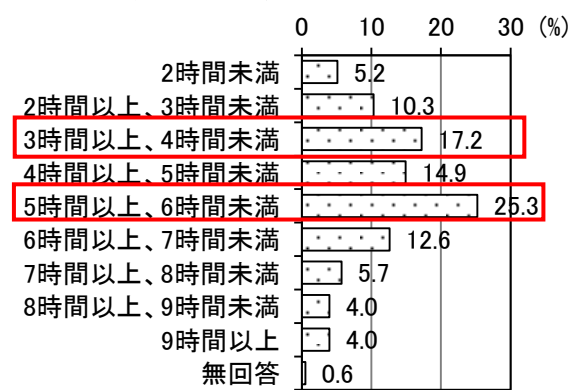
#### (2) 年齢



#### (3) 同行者の種類

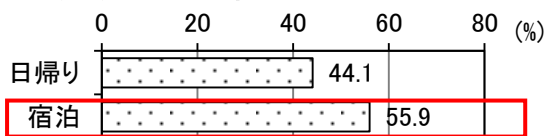


#### (4) 日帰り客の伊勢市の滞在時間



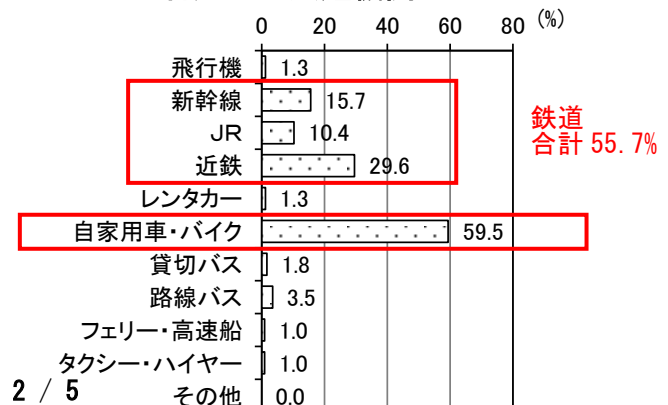
### 2. 旅行行程～旅程に宿泊を伴う割合が高い/自家用車・公共交通利用が多い～

#### (1) 宿泊の有無

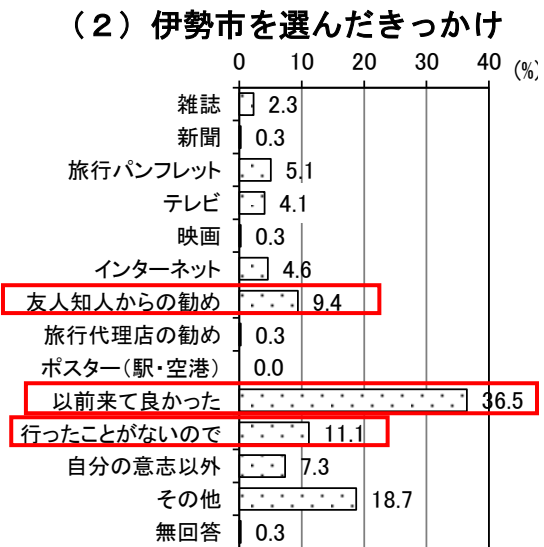
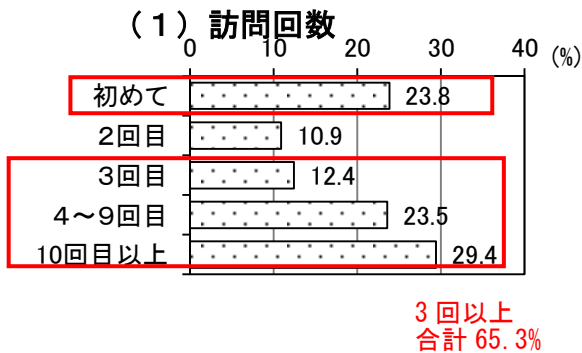


#### (2) 伊勢市へ来る（から帰る）際

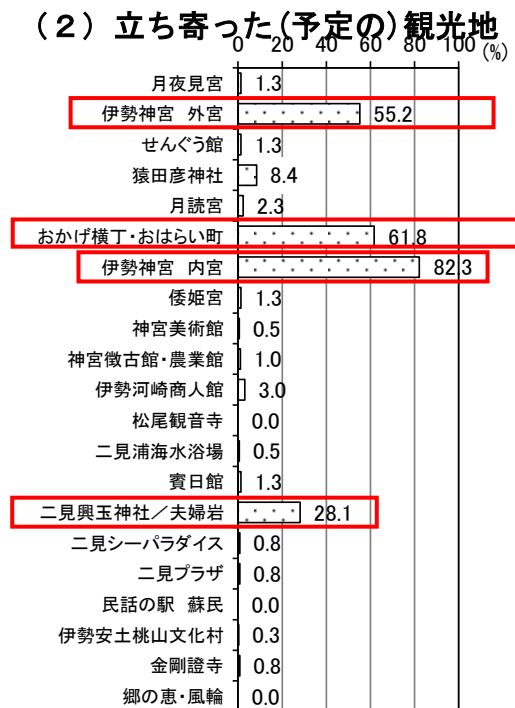
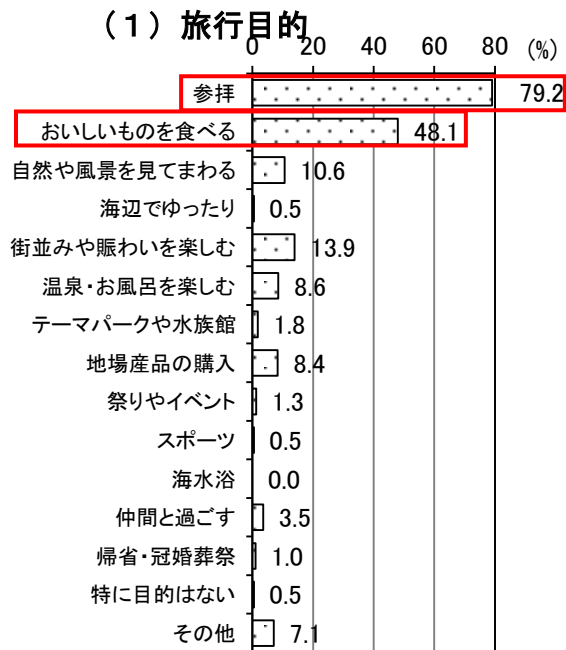
##### 利用した交通機関



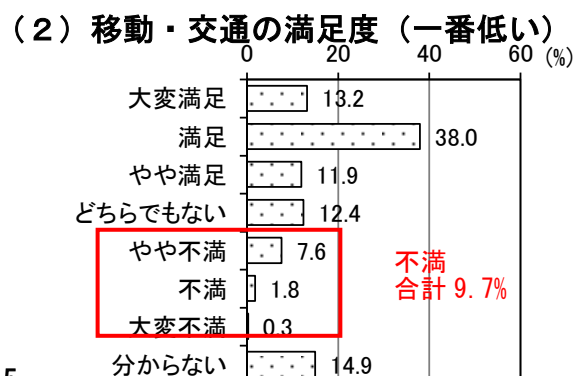
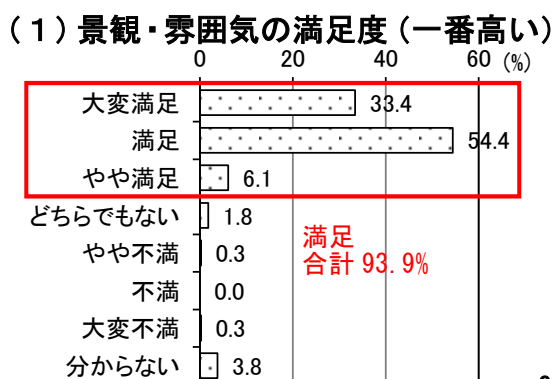
3. 伊勢市を選んだ理由 ～3回目以上のリピーター/本市に憧れのある&友人知人からの勧めによる初訪問者～



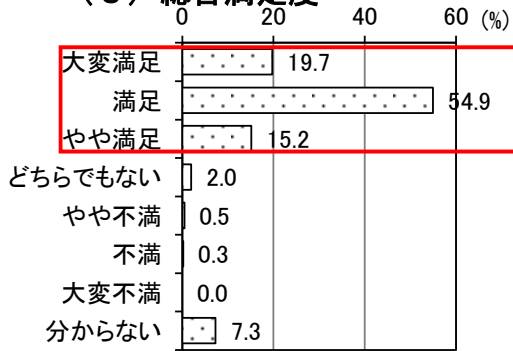
4. 観光目的地～伊勢神宮(内宮・外宮)&二見興玉神社への参拝/食べ物目的も多い～



5. 本市観光の満足度～ほとんどの項目で「満足」の割合が高い/約9割に再訪意欲～

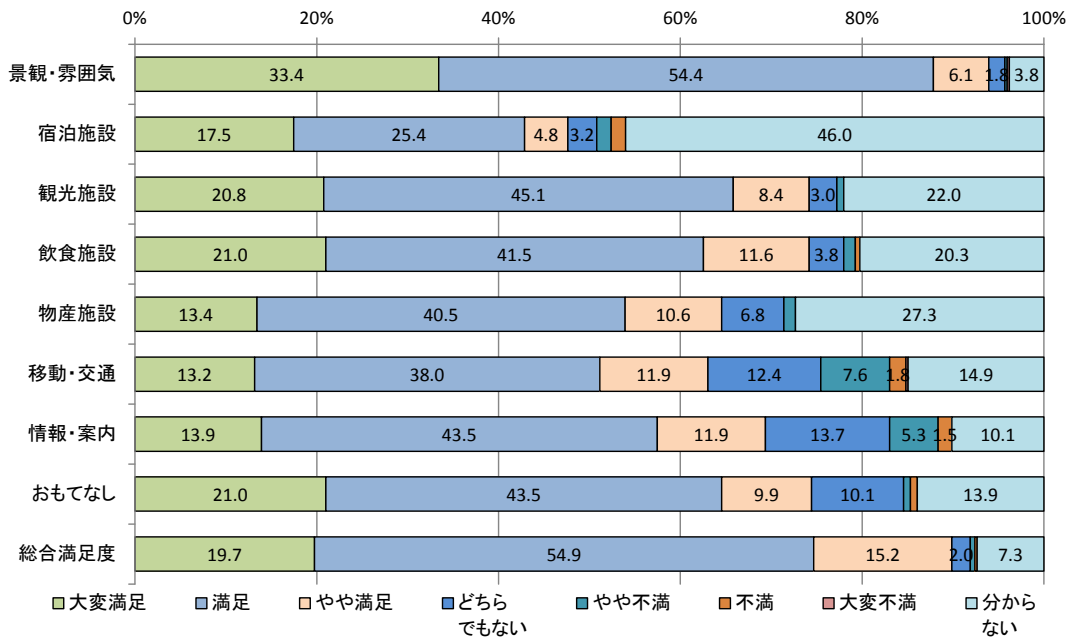


### (3) 総合満足度

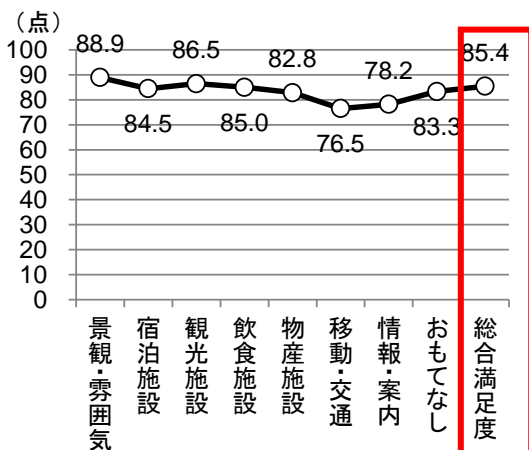


満足  
合計 89.8%

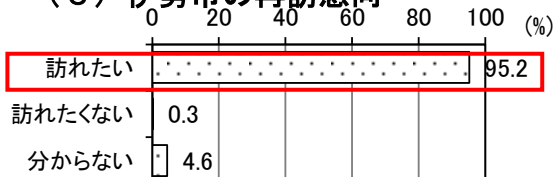
### (4) 各項目の満足度の比較 (構成比)



### (5) 各項目の満足度の比較 (点数)



### (6) 伊勢市の再訪意向



## ■平成27年1～4期の傾向

今回、初めて年間を通じて4期の調査を行い、下記の傾向が見られました。

### 【年齢】

・「40, 50歳代」又は「60歳代」の割合が最も高くなっていますが、3期（10月）は30歳代の割合が最も高くなっています。

### 【同行者の種類】

・家族（子ども）は2期（7・8月）に最も割合が高くなっています。

### 【日帰り客の伊勢市の滞在時間】

・各期とも「4時間以上5時間未満」又は「5時間以上6時間未満」の割合が最も高くなっていますが、4期（12月）は「3時間以上4時間未満」の割合も高くなっています。

### 【宿泊の有無】

・旅程に宿泊を伴う割合は、1～4期の中でも2期（7・8月）及び3期（10月）が高くなっています。

### 【伊勢市へ来る（から帰る）交通機関】

・2期（7・8月）及び3期（10月）は「自家用車・バイク」より「鉄道」の割合が高くなっています。

### 【訪問回数】

・3回以上のリピーターの割合は、1～4期の中でも1期（4月）及び4期（12月）が高くなっています。

季節による傾向も考慮しながら、今後も推移を注視していきます。